

平成20年5月13日

平成20年3月期決算の概要について

シロキ工業株式会社
(輸送用機器 東証、名証第1部上場)
(*百万円未満以下切り捨てております)

1、平成20年3月期連結決算の概要

売 上

[6期連続過去最高。全地域で過去最高]

当期の連結売上高につきましては、前期比7.5%増の1,435億5千7百万円で100億4千8百万円の増収となり、6期連続で過去最高を更新いたしました。これは、得意先自動車メーカーの輸出好調に伴う堅調な国内生産や海外生産の充実、および新製品開発などの効果によるものであります。

所在地別では、特に市場拡大が続くアジアが中国、タイで大幅に売上を伸ばし、前期比71.8%増で39億9千9百万円の増収となったほか、主力の日本が4.5%増で45億円、米国も5.7%増で15億4千9百万円の増収となり、日本・米国・アジアの全地域で過去最高の売上を記録いたしました。

得意先別では、主力のトヨタグループ向けが堅調に推移し、前期比4.7%増の960億6千4百万円で、43億1百万円の増加となったほか、日産自動車向けが米国現地「アルティマ」向けドアサッシの生産増などにより、前期比38.4%増の97億2千8百万円で27億1百万円の増加となりました。

製品別では、ウインドレギュレータがモーターとECU(電子制御装置)を一体化した新型ウインドレギュレータの新製品効果によって、前期比11.4%増で44億3千9百万円の増加となったほか、ドアサッシも米国、中国で好調に推移し、前期比11.8%増で26億4千7百万円の増加となるなど、主力製品がいずれも好調に推移いたしました。

これらの結果は、この間当社が世界4極市場対応を視野にグローバル生産・供給体制の整備とともに受注拡大に取り組み、加えて高付加価値と競争力強化をはかった新製品開発の成果が現われてきたものであります。

連結決算概要

(上段当期、下段前期)

売上高:

1,435億5千7百万円
1,335億9百万円
(前期比7.5%増)

営業利益:

50億5千8百万円
31億8千2百万円
(前期比58.9%増)

経常利益:

39億3千1百万円
31億8千9百万円
(前期比23.3%増)

当期純利益:

29億7百万円
16億1千2百万円
(前期比80.3%増)

1株当たり当期純利益:

32円77銭
18円17銭

海外売上高比率:

27.0%
24.9%

設備投資:

68億4千9百万円
73億7千1百万円
(前期比7.1%減)

減価償却費:

60億9千7百万円
55億4千9百万円
(前期比9.9%増)

所在地別売上高

(上段当期、下段前期)

・日本

1,054億3千4百万円
1,009億3千4百万円
(前期比4.5%増)

・米国

285億5千2百万円
270億3百万円
(前期比5.7%増)

・アジア

95億7千万円
55億7千1百万円
(前期比71.8%増)

・合計

1,435億5千7百万円
1,335億9百万円
(前期比7.5%増)

利益

〔当期純利益は過去最高〕

営業利益につきましては、税制改正に伴う減価償却費の増加及び人件費の増加などがありましたが、売上増加や継続した合理化改善のほか、国内収益基盤の再構築に向けた生産体制と内外製の見直しにより、前期比58.9%増の50億5千8百万円で18億7千5百万円の増益となりました。

経常利益につきましては、急激な円高の影響により為替差損9億7千5百万円などを計上いたしました。営業利益の増加により、増益幅は減少したものの、前期比23.3%増の39億3千1百万円で7億4千2百万円の増益となり、当期純利益では、財務体質強化に取り組んだ結果、特別損失が減少し、前期比80.3%増の29億7百万円で12億9千4百万円の増益とし、増益幅を改善するとともに、過去最高を記録いたしました。

期末配当金を50銭増配

当期の業績が好転し、連結の当期純利益が過去最高となったことを踏まえ、期末配当金を昨年11月1日に公表した1株当たり2円から、50銭増配し、1株当たり2円50銭とさせていただきます。この結果、既に行った中間配当とあわせて当期の年間配当は1株あたり4円50銭となり、前期比50銭の増配となります。

得意先別売上高

	(上段当期、下段前期)
・トヨタG	(66.9%)
	<u>960億6千4百万円</u>
	917億6千2百万円
	(前期比4.7%増)
・売上高上位(自動車メーカー)	
トヨタ自動車	(38.6%)
	<u>553億9千3百万円</u>
	511億7千5百万円
	(前期比8.2%増)
スズキ	(7.6%)
	<u>108億8千3百万円</u>
	106億4千9百万円
	(前期比2.2%増)
日産自動車	(6.8%)
	<u>97億2千8百万円</u>
	70億2千6百万円
	(前期比38.4%増)

* 社名横の()内は売上構成比率

主要製品別売上高

	(上段当期、下段前期)
シートクライナ・	
シートアジャスタ	(36.3%)
	<u>521億7千4百万円</u>
	512億1千4百万円
	(前期比1.9%増)
ウインドレギュレータ	(30.2%)
	<u>433億1千万円</u>
	388億7千1百万円
	(前期比11.4%増)
ドアサッシ	(17.5%)
	<u>250億5千8百万円</u>
	224億1千1百万円
	(前期比11.8%増)

* 製品名横の()内は売上構成比率

2、平成21年3月期連結業績予想について

売 上

[売上は横ばい]

今期の連結の業績予想につきましては、国内におきましては総新車販売台数の前年割れが見込まれ、加えて輸出の伸びも海外現地生産の加速により鈍化するものと予想され、また米国ではサブプライムローン問題による消費の冷え込みや原油価格高騰などにより、新車販売が低迷するものと予想されております。このような状況の中、国内は横ばい、米国は減収、そして好調を維持するアジアがこれをカバーするものと見込み、その結果、売上高は通期で前期比1.0%増の1,450億円で14億4千3百万円の微増と、ほぼ横ばいを予想しております。

利 益

[当期純利益は3.7%減]

利益につきましては、売上高がほぼ横ばいを予想し、増収効果が見込めず、加えて国内での利益基盤再構築費用増などがあり、通期営業利益は前期比17.0%減の42億円で8億5千8百万円の減益を予想しております。また、通期経常利益は前期比1.8%増の40億円で6千9百万円の増益、当期純利益は3.7%減の28億円で1億7百万円の減益を予想しております。

以 上

平成21年3月期連結予想

(上段予想、下段前期実績)

売上高：

1,450億円

1,435億5千7百万円

(前期比1.0%増)

営業利益：

42億円

50億5千8百万円

(前期比17.0%減)

経常利益：

40億円

39億3千1百万円

(前期比1.8%増)

当期純利益：

28億円

29億7百万円

(前期比3.7%減)

1株当たり当期純利益：

31円57銭

32円77銭

海外売上高比率：

27.6%

27.0%

設備投資：

88億7百万円

68億4千9百万円

(前期比28.6%増)

減価償却費：

62億4千4百万円

60億9千7百万円

(前期比2.4%増)

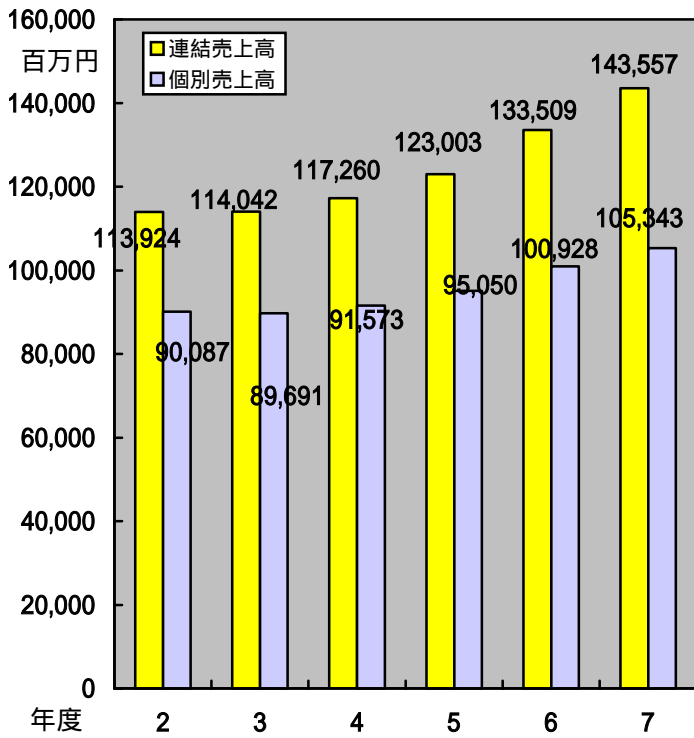
この件のお問い合わせは：

シロキ工業株式会社(0533)84-4691 取締役経理部長 大石
総務部広報担当 眞野 まで

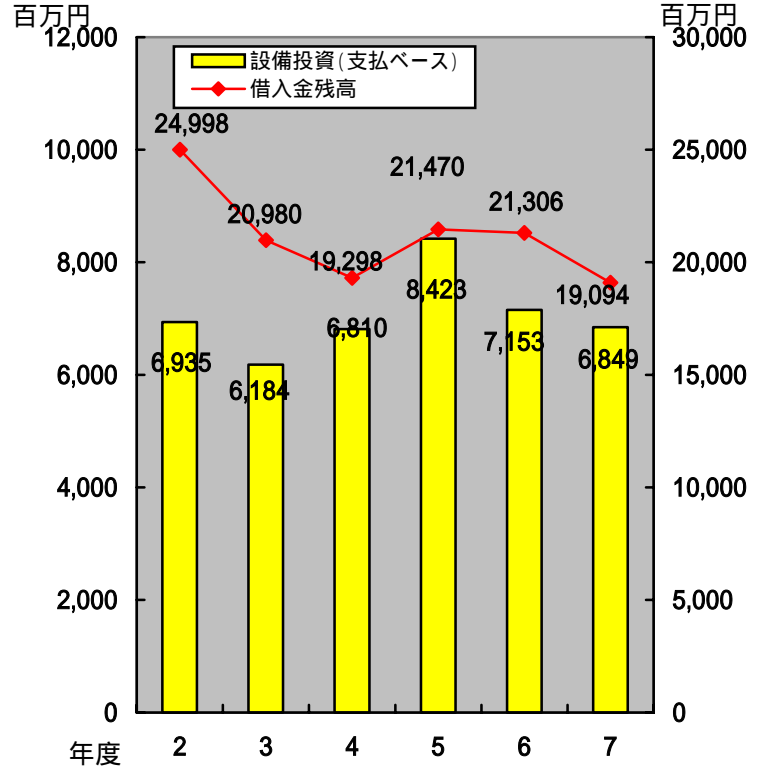
業績推移

シロキ工業株式会社

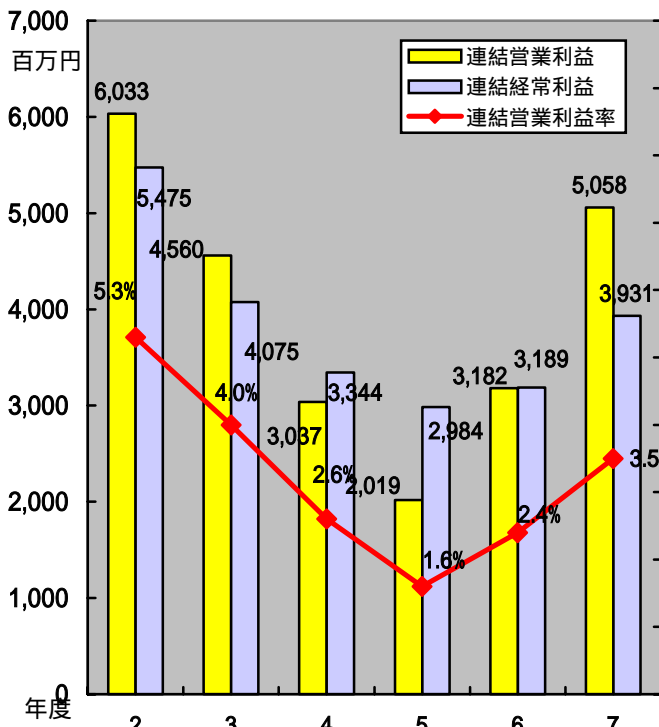
連結・個別売上高推移



連結設備投資・借入金残高推移



連結利益推移



個別利益推移

